

安くて便利な巡回バスで、人も街も元気に

高齢者の社会参加、健康の増進、経済効果も大

日本共産党

どの調査結果でも、市民要望が断然強いのは「公共交通の充実」です。超高齢化で交通弱者は増加の一途。買い物、通院など、気軽におでかけができる便利な巡回バスの要求はますます切実です。

低料金のバスには、高齢者の社会参加の促進、健康増進効果の他、高齢者が活発に外出して地域で買い物をすることによる経済効果、賑わいの創出、交通事故の防止効果も認められています。

人も街も元気にする大きな複合効果のある巡回バスが、江南にもぜひ必要です。

雨の日は、駅までバスで行けるといいな。

免許を返納したくてもできません。安心して免許が返納できるように巡回バスを走らせてほしいです。



布袋駅東にできるという新図書館へ、誰でも気軽に行けるように、バスなどの公共交通が絶対に必要です。



いこまいCARはもう限界

利用頻度に極端な格差

巡回バス中心に転換を



いこまいCAR登録者の一人当り年間利用回数の分布(2017年度)

利用回数	人数	%
0回	5,306	69.4
1~10回	1,365	17.9
11~100回	860	11.2
101~200回	75	1.0
200回超	36	0.5
合計	7,642	100.0

タクシー料金の半額を市が補助する「いこまいCAR」。非常に便利ですが、料金が高くなりすぎる、隣町まで利用できないなどが原因で、登録しても乗らない人が増えています。

1便あたりの料金は平均678円にも。国民年金の人が、毎日気軽に乗れる公共交通には程遠い額です。

登録市民7,642人の約70%、5,306人は年間利用回数がゼロ。利用者の約半数はわずか5回以下。一方、年に200回以上も利用するヘビーユーザーが存在するなど、不公平な交通格差が広がっています。(左表)

タクシーの運転手不足も深刻。後期高齢者の急増期も迫っており、これ以上、いこまいCAR頼みの交通政策を続けるのは財政面でも限界です。

誰でも、どこに住んでいても、お金の心配をせずお出かけができる、巡回バスを中心とした公共交通の充実へ、転換する必要があるのではないのでしょうか。



上写真は東郷町巡回バス「じゅんかい君」。子どもと障がい者、65歳以上は無料。一般は100円。町内に3路線(それぞれに左まわりと右まわり循環があり、1周約60分で巡回。結節点で乗り換えができる。

江南市の主な公共交通への財政支出(2017年度)

	市負担額	のべ利用者数(人)	1人当り市負担額
いこまいCAR	3193万円	67,411	474円
名鉄バス補助路線	692万円	528,375	13円

ないのは、江南と扶桑だけ



**日本共産党を伸ばして
お金の使い方を変え、実現させましょう**

愛知県内54自治体のうち、巡回バスを走らせていないのは、今や江南市と扶桑町だけ。

市民の強い要望に背をむけ、今後10年間は「現状維持」などという市の方針はとんでもない話です。いこまいCARを根本的に見直して財源を作り、安くて便利なバスをいっしょに走らせましょう。

「巡回バス」真剣に取り組んでいます

日本共産党

(提案します!)

- ◎ 1周60分程度で循環する低料金の巡回バス路線を、地域の実情に合わせて複数つくり、路線間を乗り継げるようにする。市外への通勤路線が主な名鉄バスとは、協議しすみわけを図る。
- ◎ 主なスーパーや商店、病院、医院、銀行、郵便局、公共施設、地域の集会所などにきめ細かくバス停を設ける。隣接する扶桑町、大口町、岩倉市内などへ各自治体と協力してバスの相互乗り入れをする。
- ◎ 福祉タクシーチケットの支給を、現行の85歳から80歳に引き下げる。

● アンケート用紙をいっしょにお届けしました。「江南のこれからの公共交通どうする?」ご意見、ご要望、お困りのことなど、ぜひお聞かせください。